

議 長	事務局長	次 長	書 記

会 議 日 時	令和2年9月10日（木） 午前9時30分 ～ 午前12時			
会 議 場 所	○議員控室 〇委員会室 ○議会図書室 ○その他（ ）			
出 席 者 数	委員 5名のうち出席者 5名			
出 席 委 員	委 員 長	中 屋 康	委 員	岩 井 優之介
	副委員長	村 井 眞菜	委 員	酒 井 祥成
	委 員	緒 方 正綱	委 員	
説 明 者	健康福祉課	課 長 長森伸一	町 民 課	課 長 本山桂三
傍 聴 者		な し		
付 議 事 件	1. 陳情第1－22号 四万十町に人工芝の多目的グラウンド建設を求める要望書の継続審査について			
	2. 陳情第2－6号 「妊産婦医療費助成制度創設」を求める陳情書審査について			
	3. その他			
審 査 ・ 調 査	1. 陳情第1－22号について、8月3日に陳情者と執行部とともに協議した中で、当面の動きとして窪川高校のグラウンドを利用して二面を確保する案について、「県教育委員会に問合せ協議をする」としていたことについては、その後、協議が進んでいないとの生涯学習課の回答があり、なお協議を急ぐ旨申し入れて「継続審査」とした。			
	2. 陳情第2－6号について、1、 陳情の趣旨にある現在創設されている「乳幼児医療費助成制度」と同様に「妊産婦医療費助成制度」を設けることについて、			
	所管の健康福祉課長と乳幼児に関する所管の町民課長から本町の現状と、妊産婦医療費助成制度創設への意見を聞いた。			
	町の意見としては、当該の制度として全国的にはまだ広く普及していないが、そのうち栃木、富山、岩手、茨城の四県で創設しているが、高知県では現在のところ創設はされていない。			
	創設するにあたっては市町村単位での裁量となるが、本町の場合は10月に			
	「四万十町子育て支援センター」を開設し妊産婦への対応をしていくので、これまで妊産婦への助成制度としては検討されたことはないとの説明を受けた。			
	委員からは、陳情書は県への協力要請するように意見書が添付されているので、県の動向も調査してみる必要があるのではないか。また、市町村より先ず			
	県への働きかけが順序として順当なのではないか、最近の県の動きも調査すべきだ。そして、委員会として審査する上で、実行性を担保できる、資金、人			

	員、体制などについてこれまでの妊産婦対応をベースとして、データを作成して提示するよう申し入れ、次回以降の委員会で資料として検討することとして、「継続審査」とした。		
	3. その他		
	(1) 決算特別委員会の委員会割り当ての委員として、中屋、村井の2名を選出		
	(2) 次回以降の委員会調査項目に特別養護老人ホーム窪川荘、四万十荘の事務組合解散後の運営状況等について研究することとした。		
	報 告 日	令和2年9月10日(木)	委員長署名